

玉露叢

十六

集

御家

和書門			
三三一三〇			
二〇	架	函	號
冊			類

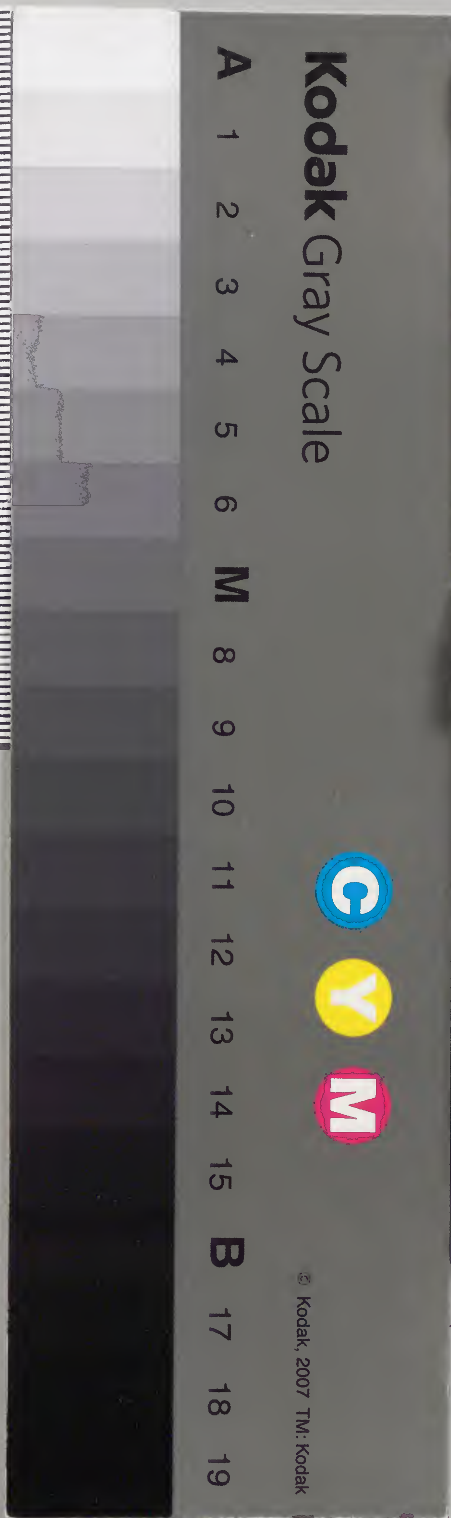
庫文閣内			
一五		三三三	和
函		三三〇	書
一四	二〇	三〇	類
架	冊	號	



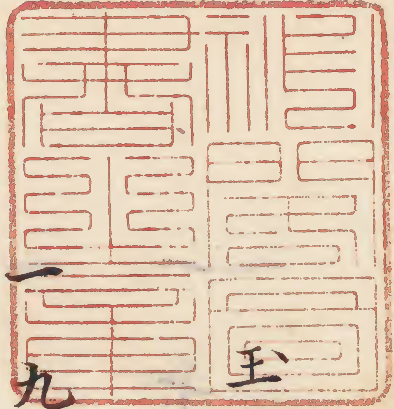
内閣文庫	
番號	和 35130
冊數	20 (18)
函號	150 83

第三

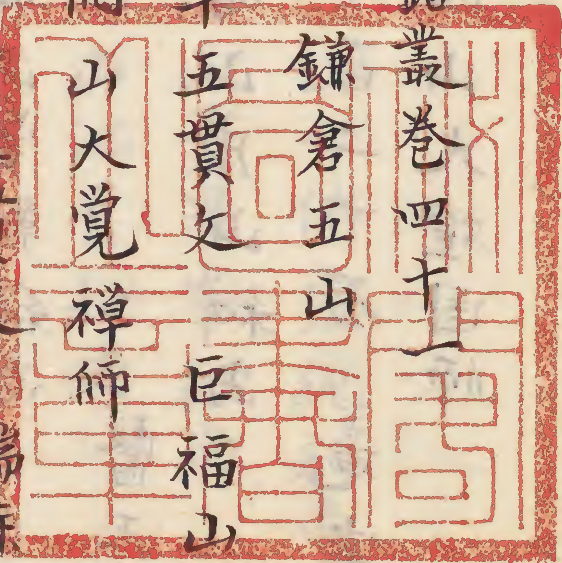
共二十



131/86



玉露叢卷四十一



鎌倉五山

巨福山

第一 建長無國寺

一百四十三貫文

瑞麻山

第二 圓覺無禪寺

開山佛光國師

龜谷山

第三 金剛壽福寺

開山子光國師

六貫百四十文

第四 淨智寺

開山佛源禪師

一 四貫三百文 稻荷山 才五 淨妙寺

一 開山行勇禪師 竹進山 法泉寺

一 開山本覺禪師 上羽世良田 今天台宗 長示寺

一 開山榮朝和尚 醫王山 東光寺

一 開山月山和尚 龜宝山 大德寺

一 千二百二十石 開山大燈国師

一 開山一休宗純和尚 龜泉庵

一 開山基陽峯和尚 龜光院

一 開山江月和尚 芳寿院

一 三百石開山寿屋国師 等持寺

一 三百九六石 尊氏公ノ菩提葉十リ 聖福寺

一 築前安国山 寺門ノ額 = 杖葉最初禪窟卜アリ

一 五百石 外三 武尻万松山 東海寺

一 開山沃庵和尚
 一 五十俵 江戸田満山 廣徳寺
 一 二百石 和呂柳生 芳徳寺
 一 四百九十一石 正法山 妙心寺
 一 開山開山和尚
 一 三百石 江戸天沢山 麟祥院天沢寺
 一 百五十石 野呂那須 雲岩寺
 一 百七貫文 松岳山 東慶寺
 右東慶寺ハ鎌倉松ヶ岳比丘尼取十リ上古ニハ
 比丘尼五山有シ十リ皆禪宗ニ属ス

一 百石 足利ノ 学校
 一 百三十石 余武呂久喜 耳棠院
 一 百石 常呂水戸 正宗寺
 一 八十石 房及世本 真禪寺
 一 百五十石 常呂水戸 清音寺
 一 五千石 遠呂 方廣寺
 一 三百石 二百人扶持 黄檗山 万福寺
 開山隠元禪師
 右ノ寺地城呂宇治ノ邊ニ大和ノ内籠谷ニ於テ
 境内山林九万坪ヲ玉フ

曹洞宗

越前志比丘吉詳山永平寺

一 開山初祖道元和尚

山城宇治佛徳山真聖法林寺

一 開山初祖道元和尚

越前大野宝慶寺

一 開山寄円和尚

越前馬麓如意庵

一 開山孤雲和尚

加賀昌樹林大乘護国寺

一 開山徹通義介和尚

能登洞谷山永光寺

一 開山瑩山紹瑾和尚

能登諸嶽山總持寺

一 開山瑩山紹瑾和尚

右瑩山和尚勅有于三光国師佛悪大禪師卜謚又

下野那須五峯山泉濱寺

一 開山源翁和尚

右ノ和尚勅有于大壽院源翁法王大禪師卜謚又

應永年中後小松院御宇那須野々殺生石ニ授戒

大桂枝ヲ以テ摩以三度石頭三ニ烈破スト云々
遠品森播谷山大洞院

一 閑山梅山南本和尚 輪番取ナリ

一 三品大沢 竜溪院

一 閑山茂林和尚 輪番所

一 三十五石 遠品万松山 可睡家

一 可睡家ハ三品遠品駿品三ヶ国ノ僧録ナリ

一 百五十石 遠品竜川山 石雲院

一 閑山崇芝性黛和尚 輪番所

一 丹品青原山 永沢寺

一 閑山通知和尚 輪番所

一 二十石 下総世喜宿安国山 總寧寺

一 閑山通知和尚

一 越品大平山 竜泉寺

一 閑山通知和尚 輪番所

一 右ノ竜泉寺ハ通知遷化ノ寺ナリ

一 八十三石 甲品 廣巖寺

一 五十石 常品 大雄院

一 百石 武品長富山 竜穩寺

一 閑東僧録三ヶ寺之内

一 五十石 野品 浩城 高顯寺

一 五十石 野品 安穩寺

一 野品 富田 大平山 大中寺

一 關東僧錄 三ヶ寺ノ内

一 五十石 野品 皆川 傑岑寺

一 五十石 上員 箕輪 竜門寺

一 六十石 常民 傳正寺

一 二百石 房列 延命寺

一 三十石 豆列 休禪寺

一 諏訪山 吉禪寺

一 關山 青岩 周陽 和尚 廿寺 八太田 道灌 卜遠山 丹

波守 卜兩將 建立 卜云

一 武列 紫雲山 瑞聖寺

一 關山 木庵 和尚

一 武品 海福寺

一 關山 独本 和尚

一 淨土宗 京師 智恩院

一 千四十五石 七計 余

一 宮 無品 法親 王尊光

一 五百石 東山 智恩 敬院

一 閑山法然上人

長徳山 智恩寺

一 閑山法然上人

一 閑山法然上人 紫雲山 光明寺

俗二百萬遍下云新黒谷

一 東山黒谷 淨華院

一 閑山法然上人

右ヲ四ヶ寺ト云

一 閑東ノ檀林十八ヶ寺

一 五千石 三緑山 増上寺 院号ハ廣渡院

閑山西譽上人

或説ニ云ク閑山ハ上總ノ国千葉ノ末子ノ千代松丸幼雅ノ時ヨリ出家シテ其名ヲ聖聰ト号シ真言宗流ヲ汲ンテ秘密金剛ノ妙用ヲ仰キ遍照舎那ノ實際ヲ求人江府ノ貝塚ノ光明寺ニ任セラル今其処ハ松平伊与守ノ屋敷ナリ凡人王一百一代後小松ノ院ノ御宇至徳二乙巳年ノ復光明寺ニシテ論儀アリ讚頭ハ善導大師ノ四帖ノ疏ニ長時起行果極菩提ト云叙文ナリ此時彼聖聰ハ一山人能化ニメ諸僧ノ問答畢ニ法問ノ論儀疑難ノ処ヲククカントス然処ニ源空上人

ヨリ七世ノ西蓮社ヲ譽聖圀上人ハ托鉢ノ休
テ彼諸席ノ法問ノ場ニ來テツククト聞玉ヒテ
莞尔ト笑ヒ互飯リ又聖聰其由ヲ見付ラレ席ヲ
立テ跡ヲ慕フテ行ク漸々淺草邊ニ大追付口申
ニハ利知ノ双ヲ含ミ身ニハ妙道ノ鎧ヲ着メ親
福文ノ利ニ勝ント思ヒツメ彼一笑ノ心底ヲ尋
子シバウク問答有ケルカ終ニハ淨土ノ奥儀ニ
舌ヲ卷聖聰今ニテノ惡念各利ノ鋒銳ヲ折テ忽
チ了譽上人ノ弟子ト成玉ヒ又依テ我寺ヲ去テ
今ノ増上寺ヲ取立閑山ト成又弟ニ代目ヲ明蓮

社圀仰上人弟三代目定蓮社聖觀音譽上人ト云
シ此和尚ハ心ニ大願有テイカニモメ衆生ヲ
度セントテ且暮ニ五夫有ケシ凡人皆邪見放逸
ノ十惡ノ繩ニカラムラレ三毒ノ海ニ沈メリ談
義說法ニテ導ンテカタシサテハ眼前ニ誠ノ下
ヲ億々ノ衆生ニ知シメシト思ハレ臨終ノ夕
ニ至リテ我ト火車ノ迎ヲ得玉フ是衆生サイド
ノ爲ナリ火車上人ノ前ニ來リシ時音譽ノ云リ
吾今少し治世シテセメテ才子同宿ホヲナリ凡
引導シテ一勾ヲシメサント思フ然ラハ來年ノ

今月今日迎ヒニ来リ候ヘトアリケレハ震動雷
電シテ火車ハイツシカ失ニケリ扱翌年ノ其月
其日ニ至リテ火車来リ誘引メ飛去又是衆生へ
ノ見セシメ寔ニ有カタキ教化之愚カヤ道号ト
戒名トヲ合メ見レハ聖観音トシテシケリ
其後遙ニ星霜ヲ経テ弟十二代ノ和尚ヲハ真蓮
社源譽上人ト申テ是慶長十五年公方家ノ命
ニ依テ普光観智国師ト謚ス當御代ニ至テ弥々
増上寺繁栄シテ浄土一宗ノ法燈四海ニカ、ヤ
キ將軍家御灵屋ハ本堂ノ左ニ軒ヲシキリ金銀

ノ券簾ヲ入ベ又山ノ南ニ五重ノ塔婆アリ銅瓦
ヲ以テツ、之婆娑即安光安楽ノ佛世界トハ此
道場ナラシヤ

- 一本堂ノ桁行ハ二間五尺一寸八分
- 一同キ檼行十六間二尺二寸八分
- 但シ縁カハ四方氏ニ三間ツ、縁ノ高サ板ノ上
ニテ九尺桂敷七十八本内四本ハ四角向并ノ柱
ニ相残ル柱ハ同シ
- 一向并ハ八間ニ三間委ク云ハ八間二尺五寸八分
- 二三間二尺五寸其高サ地取ヨリ瓦上ニテ十間

一 大方丈桁行十四間一尺五寸椽行十一間四尺
 一 小方丈桁行十間半椽行八間
 一 庫裡桁行十五間椽行三間
 一 擲家桁行十五間椽行五間
 一 釣鐘ノ蓋高廿八尺龍頭二尺合ノ一丈二口ノ廣
 廿五尺八寸
 右ハ元ノ鏡ノ蓋ナリ延宝二年ニ鑄カヘタル
 蓋ハ未タ考ヘス
 一 増上寺領五千石ノ内五百石ハ安國殿領方丈ノ
 預リ三千石ハ台徳院殿領崇源院殿領御灵屋料

同キ別當坊舎并ニ寺家衆中領十五石ツ、配分
 又殘ル千五百石ハ方丈領之

一 安國殿別當ハ 安龍院
 一 台徳院殿別當ハ 宝松院
 一 同 惠昭院
 一 崇源院殿別當ハ 泉勝院
 一 御佛殿ノ役者 月光院 常行院
 以上

一 十貫文 鎌倉 天照山 光明寺
 延宝三年十月ニ百石御新加ナリ

開山良忠上人

一六石 小石川無量山

傳通院寺号ハ
寿経寺

開山了譽上人

一三石 新田義重山

大光院

開山天竜上

一石 飯沼寿龜山

弘経寺

開山良馨上人

一三十石 鴻巣遍照山

勝願寺

開山良忠上人

一五十石 武朧常本山

吳巖寺

開山吳巖上人

一石 常品凡連草地山

常福寺

開山了実上人

一五十石 下總結城山

弘経寺

開山良馨上人

一五十石 武朧神田山 新智恩寺

開山幡随意上人院号幡随意院

右ノ寺領延宝三年十月新規ニ玉フ

一四十石 下總小金仏法山 東漸寺

開山経譽上人

一百石 下總生実竜沢山 大巖寺

一 関山道誉上人

一五子石 武只岩付仏眼山 浄因寺

一 関山清岸上人

一 百石 上只館林終南山 善導寺

一 関山幡随意上人

一十石 武只瀧山觀池山 大善寺

一 関山平秀上人

一五十石 江戸 正定山 大念寺

一 関山慶巖上人

一二十石 川越 孤岸山 蓮馨寺

一 関山感誉上人

一 百石 野只大沢 大沢山 山通寺

一 関山良栄上人

右ハ関東檀林十八ヶ寺此外浄土宗一山ノ大寺

并ニ寺領アル分ハ左ニ記入

一 三百石 駿府 金木山 宝臺院

一 関山觀誉上人 將軍家菩提所

一 七 百石 三品 成道山 大樹寺

一 関山勢誉上人 將軍家菩提所

一百石 三石 能見山 松應寺

閘山 麟譽上人 將軍家菩提取

一百石 三石 信光明寺

閘山 叙譽上人

一百石 三石 松平 高月院

閘山

二百石 紀只 和哥山 大智寺

閘山

二百石 尾只 建中寺

閘山

右八尾張殿菩提所之
四百石 常品 英勝寺

閘山

右八水戸殿御母堂之位牌所

武別四ヶ寺ハ

田東山

誓願寺

本誓寺

西福寺

天德寺

以上

和合院
天地庵

段宿院
花末院

一 五百石 筑後 井上山 善導寺

一 閑山聖光弁阿上人

一 六十石 奥只岩城梅福山 專称寺

一 閑山良就上人

一 或説ニ閑山ヲ十聲上人氏云是閑東十八ヶ寺

一 丹檀林十ヶ 灵巖寺ヲ加ヘテ十九ヶ寺之

一 京師ノ鈴色山 極乐寺

一 右ノ寺真如堂上乘院ト云時ハ天台宗ナリ

一 嵯峨ノ釈迦堂 清涼寺

一 閑山奄然

一 京師ノ 誓願寺

一 閑山教山

一 禪林寺

一 閑山永觀律師俗ニ永觀堂ト云

一 檀林 三品 法藏寺

一 檀林 三品 妙心寺

一 日蓮宗

一 甲品 身延山 久遠寺

一 閑山日蓮上人 真本寺

一 百石 池上 長栄山 本門寺

一 開山日朗上人

京師 大光山

本國寺

摩訶一院

一 開山日印上人

直本寺

一 五十二石 下總中山 正中山 本妙法花經寺

一 開山日常上人

直本寺

右ノ寺号ヲ常ニハ畧メ法花經寺ト云

一 二百六十石 甲別 大野山 本遠寺

紀伊頼宣卿御母堂菩提所ニ

一 百石 武品深川

浄心寺

一 十石 下總平賀 長谷山

本^土寺

一 開山日朗上人

一 七十石 房州小湊 高光山 誕生寺

一 開山日家上人

直本寺

右ノ寺ハ日蓮上人誕生ノ所ナリ

一 十九石 武品碑文谷 妙光山 法花寺

一 開山日源上人

一 下總玉造 妙法山 蓮花寺

一 開山日意上人

一 下總野宮長崇山 妙真寺

一 開山日合上人 直本寺

一 三十八石 武列谷中長耀山 感應寺

一 開山日耀上人

一 武員曹司谷威光山 法明寺

一 開山日善上人

一 三百石 武員四谷 本理山 自證寺

一 開山日順上人

一 右ノ寺ハ千代姫君母堂之菩提取

一 房員小湊 妙日山 妙蓮寺

一 右ハ日蓮出生ノ地之日蓮親父ノ妙日母儀ハ

一 妙蓮ト云ナリ

一 京十六ヶ寺ノ内 本能寺

一 開山日隆上人

一 京十六ヶ寺之内 密光寺

一 右ノ寺ハ本因坊之持ナリ

一 向宗

親鸞上人ハ藤原鎌子内大臣ノ玄孫近衛右大将
内麻呂ノ孫大納言真楯ノ息六代ノ後胤右国五
代ノ孫皇太后大進有範ノ男

一 本門 西本願寺

一 西本願寺

一 開山親鸞上人開基准如

一 五百石 播品

一 武尺麻布

龜子山

善福寺

一 開基頭寺

無照寺

新門

東本願寺

一 開山親鸞上人開基教如

一 武品淺草

報恩寺

一 上尺前橋

妙安寺

一 尾尺岩護屋

聖德寺

右諸国ニ在東西ノ一家并ニ院家ノ寺院ノ分

悉ク省ク

一 高田門徒

一 三百七十石 高田山

無量寿院

專修寺ト云

一 開山親鸞上人

一 是勢品一身田之事

一 右高田建立ハ後堀川院之御宇本願寺ハ龜山院

一 之御宇ナリ

一 本願寺覺信比丘尼ハ

親鸞ノ女也

一 開基源阿上人

佛光寺

右仙光寺ハ真仙上人ノ頂之草創ナリ

時宗

一遍上人ハ与品阿野七郎通廣ノ男之童名ハ

松寿九下号ス

上人号ヲハ弘安元二月十八日ニ始テ勅許ナリ

諸国修行ノ時ハ今ニ至テ人足傳馬ヲ玉ヲ

一百石 相品藤沢 藤沢山 金量院 清淨光寺

右ハ権行上人ノ隠居取ナリ

京七条之道場黄蘗山 金光寺

但シ一遍上人ヨリ十六代ニテハ毎任ナリナ

七代以來在任ニ

武只江戸

日輪寺

京師大炊之道場

闻名寺

京東山

法国寺

右ノ法国寺ハ豊臣秀頼公母堂淀殿ノ建立ナリ

遠只見付ノ府

省光寺

右ノ省光寺ニ尊氏公位牌アリ依テ御所ノ道場
ト云

甲只府

一蓮寺

一条之道場ト云是ニ祖ノ身子甲府一条法阿之

建立ニ依テナリ

越後府内之道場

称念寺

右之称念寺今ハ高田之城下ニ移ス

佐列松山道場

大願寺

千七百六十石 羽列山形

光明寺

開基ハ按察使將軍休理大夫兼頼之是寂上源

五郎茂俊之先祖

勢州山田

神光寺

右ヲ田中ノ道場ト云往昔ハ神宮ハ供物ヲ獻
ス今ハ其旧例中絶ス

越前之敦賀

御影堂

開山祖二代陀阿上人此寺ニ陀阿上人ノ御影

有气比大明神之作シ

薩列廉児島

浄光明寺

開基薩广守先祖

比立尼御取

大聖寺宮 安禪寺寺 慶安寺宮

三惡院宮 大惡院宮 大惡光院宮

通玄院宮 想持院宮 宝鏡院宮

光照院宮 持寿院宮 英勝寺 浄土宗

一 松岳山東慶寺 前記 開山ハ覺山和尚之

是ハ平ノ時宗ノ後堂之亦五代目之用堂和尚

ハ後醍醐天皇ノ姫宮之元和年中ニ豊臣秀頼

公姫君住玉ノ明曆年中ニハ喜連川御取之息

女住玉ノ

一 五百石 伊勢

慶光院 上人

一 京三条

曇花院

代々皇女住玉ノ

一 百石 和次

法花寺 真言律

一 武州谷中

善光寺 浄土宗

一 三百石 鎌倉 東光寺 栄松寺 浄土宗

右之栄松寺ハ寛永年中ニ栄松上人ノ開基之

栄松ハ水戸黄門頼房郷ノ姫君ナリ

一 三百石 三沢 總持寺 洞家宗

一 千石 信次 善光寺

本願先見寺ハ尼ニメ浄土宗大勧進ハ僧ニメ

天台

一 大勝寺 高照院 法教寺

右三个寺ハ何モ京師ニメ代々皇女住玉ノ

一 京 田照寺

元和帝政仁才一ノ皇女ヲ梅宮ト号ス母堂ハ
一位房四辻公遠ノ息女ニ梅宮ハ鷹司教平公
ノ室タリ後ニ道世ノ山照寺ト号ス

一二百石和列秋篠 典福寺

右ハ大和ヲ納言秀長ノ後室道世ノ地ナリ

三百石 和列 當麻寺

右ハ浄土宗又真言僧尼交居ス

阿列 道明寺

播列 書写山 山教寺

長列下ノ閑照寿山 阿弥陀寺毎量

是安徳天皇ノ御菩提取真言宗ナリ

江ノ関寺 两国寺

武列芝ノ五智飯命山 如来寺院号

京腰帯ノ地藏 清帯寺

京蛸菜師 永福寺

京目ヤノ地藏 桂橋寺

京丸山 安親寺

右安養寺ハ時宗之然凡遊行ノ末寺ニ非ス

京子安ノ観音 泰産寺

京三十三間堂 平愈寺得長

右三十三間堂ハ本尊子手觀音子体ナリコノ
堂ハ鳥羽院ノ御建立ナリ奉行ハ平忠盛ト云
云其後亦後白川法皇御再興ナリコノトキ亦
子手觀音子体ナリ是ヲ新子体ト云此時ノ院
号ヲ蓮花王院ト云

城別

高雄山

神護寺

嵯峨

智福山

法輪寺

太^{ウツ}恭^ニ

ノ寺号ヲハ蜂剗寺亦廣隆寺ト云

二十石

武^{ウツ}比^ニ牛^{ウツ}込^ニ牛頭山

行光寺 天台

武^{ウツ}比^ニ芝田中山

西應寺 浄土

寺院悉ク記ニヲヨハス故ニ畧ス爰ニアラス
者ナリ

玉露叢卷四十一終

玉露叢卷之四十二

一四萬二千百五十石余

一五百石 四岳祭主

一六千七百五十七石

一五百九十石

一二千七百石余

一五百四十一石

一百四十石

一五百石

一六百五十二石余

伊勢天照太神宮

一八百石 御師春木太夫

石清水八幡

吉田春日大明神

上加茂明神 別雷神

下加茂明神 只湯神

祇園武塔天神 牛頭

北野天神 菅丞相

夢岩權現 羅人

一百六十石 箱荷大明神 一八
 一百三十三石 松尾大明神 丹塗矢也
 一百石 平野明神 一二
 一百石 御香宮 神功皇后 廟十リ 一百七十石 三輪明神
 二万二千石 春日四所大明神 但真福寺領片
 一千十五石 芳野藏王権現
 二百石 卷田合幡太神
 二千百十六石 住吉大明神
 七百七十石 热田大明神
 但家康公ノ御氏神

五百石 三筋伊賀村ノ八幡
 一百五十石 三列山中ノ八幡
 三百石 遠列濱松ノ諏訪明神
 但秀忠公ノ御氏神
 九百九十石 一三百石 遠列濱松五社
 千六十九石余 富士ノ太明神
 富士ノ太明神ノ浅間太明神ノ去浅間ノ大菩薩
 三百石 大宮司 余社人 百五十石 宝幢院

別當千六十九石余社領ノ内五百石新宮九近百
八十石惣社宮内三十六石玄陽坊百石東流權之
众百石村園佐右衛門百石長守圖書五十三石筑
地式部

一千二百石 駿列久能東照大權現

一二百五十石 八幡花倉

一百石 三保明神 一貳百石 箱根權現

一五百三十石 伊豆三嶋大明神

一三百石 走湯山權現

一八百四十貫文鶴岡八幡社領ノ内神主供僧配分

百貫文神主大伴圖書七十五貫文小別當大別當
八公曉以来退博ノ供僧十二人三十五貫文我学
院三十八貫文莊嚴院三十五貫文登学院三十五
貫文香象院三十八貫文安乐园三十五貫文戒光
院三十五貫文最勝院三十八貫文惠光院三十八
貫文津国院三十五貫文正学院三十五貫文增福
院七十貫文相象院
一十九貫二百文 荏栖天神北野ノ
一百十石 武列江戶権現
一十五石 武嘉江戶芝神天照太神ノ

一五百石 武彘府中六取大明神
 一百石 武彘金澤瀬戸明神
 一五百石 武列太田庄鷲宮大明神
 一千石 下総 香取明神
 一二十石 鹿嶋大明神
 一三百石 大官司一人百世名 別雷神宮守十八
 一三百石 惣忌女官御神体也門外出入之
 一三百五十石 多賀大明神
 一三百石 竹生嶋大明神
 一百石 比良大明神
 一四百石 養濃南宮彦太ノ神
 一千石 信列 上諏訪大明神
 一五百石 下諏訪大明神
 一千石 信列 戸隠太明神
 一二百石 同 川中嶋八幡
 一百七十六石 上列 一之宮
 一千七十石 下野 宇都宮太明神
 一一万二千六百石 日光山東照宮
 一六百石余 羽列 羽黒田大権現
 一神領十三 同 湯殿山大権現

一四百石 養濃南宮彦太ノ神
 一千石 信列 上諏訪大明神
 一五百石 下諏訪大明神
 一千石 信列 戸隠太明神
 一二百石 同 川中嶋八幡
 一百七十六石 上列 一之宮
 一千七十石 下野 宇都宮太明神
 一一万二千六百石 日光山東照宮
 一六百石余 羽列 羽黒田大権現
 一神領十三 同 湯殿山大権現

一 神領十三 奥列 塩竈大明神
 一 月断 越前 白山大権現
 一 同断 但三 白山別當賢聖院二百石
 一 同断 越智山大権現
 一 同断 但三 越智山別當大谷寺百石
 一 七十四石 賀列 白山大権現
 一 二百俵 越中立山
 一 三千石 伯列 大山大明神
 一 五千石 雲列 大社
 一 千石 豊列 宇佐八幡

一 紀列大峯熊野大権現神領十三本宮新宮那智
 三所ト云
 一 武列芝ノ神明ハ三茶院ノ御宇寛弘二年九月十
 六日ニ神幣并ニ大牙一枚此取ヘフリクタル時
 ニ年来七歳計リ成女爰ニ来リケルカ眼色忽チ
 カハリテ狂ヒ口ハシリケルハ吊ハ是神凡十リ
 伊勢ノ内外ノ両神ナリ此取ニ跡ヲ夕レニ為
 二種ノ印ヲ顯シ夕リ早ニ宮造リシテ相列ニ藤
 氏ノ者ニ藤藤ノ何某ト云者アリ彼ヲ招テ神職
 ノ長トスヘキ由神託有ケレハ村民奇瑞ノ思ヒ

ヲナシ先外宮ヲ造立右ノ二種ヲ納メ奉リ扱テ
相列ニ於テ森麻氏ノ人ヲ尋出シケレハ足柄ニ
メ求メ出シ即神職ヲ司ナラシメケリ其后後鳥
羽院ノ御宇建久四年右大将頼朝公野別那須野
へ御祭向ノ時ニ笠ノ宇田川ニメ帶玉ヒシ太刀
自ラ扱テ此川ニ沉シケリ依テ水凍ヲ召テ彼ノ
太刀ヲ求メオセ玉ヘハ即チ取揚タリ其太刀ヲ
直ニ宝殿ニ納メ玉フカリ有テ星霜ヲフル程ニ
宮殿次第ニ破壊シテケレハ千三百余貫ノ神領
ヲ寄附有ケレハ宮居新ラタニシテ神宮社僧時

ヲ得テ繁栄年ヲ追テ長シケリ然ルニ数年押移
リテ後土御門ノ御宇明應三年ノ比伊勢新九郎
氏重相如小田原ニ在テ大森貫頼ヲ討テヨリ以
来開東ニ威ヲ振ヒシカ當神領ヲモケツリケレ
ハ宮殿ノ修覆ニモ及ハス法燈カ、ケ盡ス処ニ
刺ヘ数十年乱世ニ付テ参詣ノ人モ歩テ留メケ
リカク有テ正親町ノ御宇天正年中ニ東照宮天
下ヲシロシ召シテヨリ以来次第ニ社職衆ニ
メ絶タルヲツキ廢レタルヲ起シ玉ヒ神社寺院
年月ヲ追テ御寄附有ケレハ燈明ホカラニメ和

光ノ月朱ノ玉籙ヲカ、ヤカニ神物ノ花ハ群集
ノ神、異香ス猶更寛永十一年ニ將軍家光公
御信敬有テ御再與アソハサレテヨリ以來年々
九月十六日ニ祭禮等懈ルイナク繁栄ナリケリ
一武列穴八幡ノ山号ヲハ光松山十号ス濫觴ヲ尋
ヌルニ寛永十三年ニ將軍家光公ノ弓大將松平
新五左衛門直次ノ与カノ面々射藝誓古ノ場ニ
メ云ク夫ハ幡ハ源泉ノ御氏神ニメ弓箭ノ守護
神ナリ然レハ此処ニ御神ヲ勧請ニ其神前ニ射
堡ヲ築セテ弓射ニト云テ既ニ將軍家ハ言上ニ

及ビケレハ望ノ地ヲ棒領シテケリ折シモ山楹
三羽耒耜松ノ梢ニトマリケリ是偏ニ神慮ニ
叶フ美地ナリトテ先小社ヲ作り常盤木ノ松ニ
本有ケルヲ神木ト崇メテ身居ヲ立ケリ同十八
年ノ夏威徳院ノ良呂僧都當国ノ中野ノ宝泉寺
ニ居マヌヲ招請ノ社僧ト定ム此僧本国ハ周防
ノ山口ノ八幡ノ氏人ナリト云々社僧ノ牒菴ヲ
繕ハシテ地行ヲ引ナラシケル時ニ上ノ山ヲ
一丈計モ引崩シケリ見レハ山ノ底ニ少キ穴アリ
リ其中ニ御長三寸計リノカラカ子ノ佛像石上

ニ座メアリ其前ニ瓶一ツアリ左右ニ人ノ骸骨
多ク有ケルヲ取捨テ彼佛像ヲ安置ナシケレハ
諸人拜セシテ群集ヲナシ繁栄地ト成ニ依テ
今穴八幡トハ云ト也

一山城国愛宕山朝日ノ峯勝軍地藏ト申ハ百濟国
ノ日羅ノ具也敏達天王十二年ニ帝日羅ハ賢ニ
メ勇也ト敵聞有テ勅使ヲ玉ハリ日羅ヲ召サレ
ケレハ百濟国王惜テ渡サレ又亦重テ勅使ヲ立
テラレハ是非ナク渡シケリ天皇敵感有テ故
ク尋子玉フ時ニ日羅甲被テ馬上ナカウ廳前

ニ進ニテ勅答シケリ叔聖徳太子諸童ノ中ニ交
リテ日羅ノ前ニ遊フ日羅余多ク童子ノ中ヨリ
太子ヲ見知テ是クハ人ト非ス神人ナリトテ三
拜ス其後太子日羅ノ笈子ト成玉フト云々言
一清滝明神ハ文徳天皇ノ御宇大宝年中ニ役人行
者ト雲扁上人ト同行ニテ清滝ニ至リ又時ニ俄
ニ天カキクレテ雲起リ雷鳴リサウキ兩車油ノ
如ク有シ時モ口クノ天物ト大杓ノ上ニ飛行ス
此時彼二人秘咒密言ヲ以祈ラレケレハ則時ニ
天暗目ノアタリニ地藏竜樹富樓那毘沙門愛染

光リヲ放テ玉ハ天狗ハイツテハカ飛矢又其
後兩僧山ニ入テ神廟ヲ嶺ニ建テ彼大叔ヲ清滝
明神ト崇メケリ冠山ハ雲扁上人後ニ卷澄ト改
ムル

一此列目白不動ノタ、セ玉ヲ取ノ寺ヲハ即豊山
新長谷寺ト云明王ノ御長ハ八寸アリ弘法太師
ノ御作ナリ是ヲ荒澤鑛火ノ不動ト云ナリ當時
ノ閑山ハ秀山僧正ナリ秘佛故ニ閑帳ナシト云
亦湯殿山ノ行人キリ火ヲヤス事此所ヨリ初ル
トナリ

一氷川明神ハ昔人王六十二代村上天皇ノ御宇天
曆年中ニ近江ノ国甲賀郡ニ蓮林僧正トテ貴キ
汝門アリ此僧東國修行ノ時爰ニ来テ一夜草枕
ヲ結ヒシニ夢ニ白髮タル老翁来テ告テ曰ク我
ハ是此土中ニ埋レテ年久シク雪霜ヲ送リタリ
急キ堀出シテハ此取ノ守護神ト成ヘキト神託
有テカキケス如ク矢セ又僧正奇異ノ思ヒテ十
シ其心アテノ所ヲ見メクナリ玉ヲニ少シ小高キ
所ニ金色ノ光リアリ即テソコヲホツテ見レハ
十一面觀音ノヲハシマシケルヲ得タリ即テソ

コヲ清メテ草菴ヲ結ヒ一木ノ村ノ觀音ヲテ諸
人歩ミテ運群參シケリ或時夏ヨリ秋マテ旱魃
ニテアリケレハ民等稻菫ノ枯シホミ夕ヘ下ラ
愁ヘテ此觀音ニ祈シカハ雨車油ヲ流シテ降ケ
レハ夫ヨリシテ氷川明神トモ云傳ヘシトナリ
一武列湯嶋ノ天神ハ文明十年ノ夏太田道灌持資
勸請シケルナリ

一武列高岩和ノ太子堂ハ明曆年中ニ松平越後守
光長ノ陪臣川木八兵衛ノ来カ勸請シテヨリ以
来繁榮スナリ

一武列品川ノ水月觀音ハ弘法大師往昔安置シ玉
ノ本尊也ト云々是間淳樞金ノ聖觀音ノ立像十
リ元ハ龍宮界ヨリアカリ玉ノナリ大師異國
ヨリ皈朝ノ後關東ヲ回國シテ此所ノ領主何某
ニ授ク其後品川丸京亮ニ傳リ猶亦應永年中ニ
鎌倉ノ公方持氏公ノ時ニ上杉彈秀ト合戦ノ節
品川ノ一旗討死ノ後太田道真ニ渡リ相續テ其
子ノ持資入道道灌久ク此所ニ住ニテ深ク信心
ス道灌品川ヲ去テ長録元年四月ニ江城ニ移リ
テ後文明十八年七月ニ上杉修理太史定政ノ為

討レヌ此時開東大ニ乱レテ人民住スル所ニ
マトフ砌ナレハ此觀音ヲ誰人カ甲列ヘモリテ
行ケレバ彼地佛心ニカナヒ玉ハサリケレハ急
キモトノ品川ヘ送レトテ兒童ニ取ツキ口ハシ
リケレハ所ノ者氏驚テ執行者ヲ頼ニテ元ノ品
川ヘ送り皈シケリ其後春秋ヲ經テ當時將軍家
ニ至リ兼應元年ニ寺社奉行所ヘ訴テ觀音ノ寺
地ヲ拝領シ一字ノ堂ヲ建立セリ海照山普門院
品川寺ト号ヌ此時ノ住持ハ推大僧都ニテソシ
ハシケル誠ニ大慈大悲ノ御惠引外ハ弘誓深如

海ニ比シ歷幼不思儀ノ波ノ如シホシ信信心膽
仰ノ人ノ前ニハ一時ノ月萬水ニヤナレニ等ニ
ケレハ其儀ニ准ラヘテ水月觀音ト云ト也
一金龍山淺草寺ノ觀音ハ往昔淺草川ヲハ宮戸川
ト云シ也然ルニ漁父此川邊ニ軒ヲ双ヘテ住
ケリ推古天皇ノ御宇ニ進中臣ト云人罪ニ沉ニ
テ此所ヘ尤遷シ玉ヒ又彼中臣カ僕ニ檜熊ノ濱
成武成トテ兄弟有ケルカ主人ノ跡ヲ慕ヒテ爰
ニ來リ宮仕ノ日ヲ經ルニ隨テ朝暮ノイハナシ
是ニカリケレハ漁父ニ習テ宮戸川ニ出テ網ヲ

引シニ何トヤランアヤシキモノ綱ニカ、リケ
リ鱗魚ニアラホリケレハ取テ捨ケレハ七度マ
テカ、リ不思儀ニシモヒ月顛ニ見ケレハ光明
赫変タル観音ノ尊影ナリ兄弟凡ニ奇異ノ思ヲ
ナシ先カリニ草菴ヲ結ンテ安置シ奉リ又其後
牧十人ノ者有シカ信敬ヲ起シテ一字ヲ建ケリ
日ヲ追テ繁榮ノ後ニ彼三人ヲハ三所ノ護法ト
崇メ亦十人ノ牧ヲ八十社権現ニ崇メニナリ
叔孝徳天皇ノ御宇大化元年ニ勝海上人此所ニ
来リシ時佛勅ヲ蒙リシ云ヨク以来秘佛計ノ直

ニ尊体ヲ捧スル事ナシト云云其本尊ハ人ハ父
ナリト云云ハリ委キ工命爰ニ畧ス

一武列山ノ身ノ山王権現ハ叡山弟二世ノ座主慈
覚大師ノ開基ナリ是江府ノ鎮守トシ和光同慶
利益淺ラヌハ相成道ヲシメニ玉ヲ然ルニ慈覚
佛法弘通ノ為ニ武列ニ吉野ニ今ノ川越至リテ
里野山ヲ開キ始メニ又同類ノ教法ヲビロメ玉
フ且ハ佛法ヲ傳ヘニカ為カ且ハ和光利益ヲ普
ク東国ニ及ナニカ為ニトテ我立杣ノ尊神ノ上
ノ七社中ノ七社下ノ七社各ノ内一社宛三所ノ

冥神ヲ勸請有ケリ抑三所ノ御神ト申奉ルハ弟
一ニ上七社ノ内ニノ宮ノ権現ハ本地薬師如来
東方淨瑠璃世界ノ教主也二六ノ大願ヲ立衆病
悉除ノ別意ヲ洩升ス參詣ノ輩ヲ救ヒ玉フナカ
ヤ弟二ニ中ノ七社ノ内吉備ノ社ハ本地ハ聖觀
音也七社三毒ノ春ノ霞ハ十九說法ノ凡ニ消一
三十三身ノ秋ノ月ハ五濁ノ水ニ影清ラカナリ
第三ニ下七社ノ内王子ノ本地ハ文殊菩薩ナリ
三世覺母ノ智釵ハ三障四魔ノ軍ヲ独歩シ無為
ノ妙用ハ四徳三昧ノ光リヲ放テ玉フカリテ星

霜ヲ累子テ後花園院御宇長録三年ニ太田道灌
持資江府ノ城主ノ時文明年中ニ始テ此御神ハ
被星ノ山ヨリ江城ノ内ハ勸請セリ亦ナリ此
ヨリ山ノ寺ハ御城ニ移セリ近代明暦三年ノ大
火ノ後溜池ノ上石川主殿頭昌勝屋鋪勝地タル
ニ依テカシコヲ改メテ御造栄事耳テ御遷座ナ
シ奉リ又誠ニ其義麗ナル下ハ金殿玉ヲ夕レ昼
棟朱扉ヲカケ渡シ湖水ヲ目ノ下ニ見テ絶景無
双ノ冥地ナリ事モ愚ヤ御當地ノ御氏神ニテ渡
ラセ玉ハ三年ニ一度虎祭禮誠在スカ如クニ

ノ萬民渴仰ノ頭ヲ傾テ敬拜斜メナリ永田山山
王権現ノ表門ニ石ノ花表ニツアリ石壇ハ五十
段ナリ隨身門アリ此内ニ亦門アリ社僧ハ上野
ヨリ代リ持ナリ神主ハ日吉大膳ト云
一総別永代嵩ノ八幡ハ寛永九年ノ比長威法印夢
ニ正八幡宮ヲ拜シ奉ル夢中ニ詔リ有リテ曰ク
我此永代嶋ニ鎮座スヘシテ数度ノ其夢ヲ蒙リ
ス依テ一字ノ宮居ラシツラヒテ正八幡ヲ勧請
ス同キ八年ニ亦再興アリ御神体ハ菅叢相ノ御
作ニ天住昔源三位頼政ノ守護神ナリ其后子業

从ノ家ニ敬拜メ後亦源尊氏公ニ傳リ鎌倉ノ公
方基氏持氏秘拜有テ官領上叔家ニ崇敬ス猶亦
太田道灌ニ傳リ深ク信シケルカ持資ノ子孫散
乱ノ後シハシ下総ノ国ニ御鎮座ノ処ニ和光有
縁ノ大悲ニ依テ今此所ニ安置シ奉リ又伊勢太
神宮春日大明神ノ二神左右ニ夕、七玉ヒヌ同
二十年八月十五日始テ祭禮ヲトリ行ヒケルカ
夫ヨリ毎年式事ニ成カリシテ神徳日々ニアツ
クノ諸人渴仰ノ頭ヲカタムケ鳥中ノキメキ祭
昌ス

一武列高名和ノ五智ノ如来ハ但喝沙門ノ冠基十
リ抑此但喝ノ本國氏ニ撰列多田ノ里ノ産也其
母有馬ノ薬師ニ祈テ出生ノ子ナリ幼時ヨリ佛
道ニ心ヲヨセ玉ヒシカ終ニ八十五歳ニシテカ
ナリヲ口シ木食但善ノ弟子ナナルカク有テ後
信列ノ檀持山ニ分入テ百日ノ間念佛三昧ヲ成
就メ白ノ嶺モ日ノアタリシテ上高ノ御影ヲ拜
シソレヨリ此山ヲ中テ亦同國ノ淺間ノ嶽ニ竈
リ百日ヲシタシソコヨリ紀列那智ノ高嶺ニ至
リ亦百日行ヒ如願成就メ其外南海西海普子ク

所行シ色々ノ奇持ヲ見テ度々ニメ及数月ヲ經
テ後江府ニ下リ今ノ五智ノ大佛ヲ造ル都テ木
像ナリ但喝行年六十ニメ遷化ス亦山列葛野郡
嵯峨ノ鳴瀧ノ五体佛モ此時造テ舟ニノセテ登
セケルナ十二ニ同キ閻魔堂地藏堂ノ尊体モ但
喝作也

玉露叢卷之四十二終

玉露叢卷之四十三
御軍役之次第
一、八十八
一、八十九
一、九十
一、九十一
一、九十二
一、九十三
一、九十四
一、九十五
一、九十六
一、九十七
一、九十八
一、九十九
一、一百

玉露叢卷之四十三

御軍役之次第

- 一千石 人数二十三人持鑪二色弓一張鉄炮一挺
- 一千百石 人数二十五人持鑪三色弓鉄炮右同断
- 一千二百石 人数二十七人持鑪弓鉄炮右同断
- 一千三百石 人数二十九人持鑪弓鉄炮右同断
- 一千四百石 人数三十一人持鑪弓鉄炮右同断
- 一千五百石 人数三十三人持鑪弓鉄炮右同断
- 一千六百石 人数三十五人持鑪弓鉄炮右同断
- 一千七百石 人数三十七人持鑪四色弓一張鉄炮二挺

一千八百石 人数三十九人持鑪弓鉄炮ハ右同新
 一千九百石 人数四十人持鑪弓鉄炮ハ右同新
 一千石 馬上一騎鉄炮二挺弓一張鑪五本
 一千三百石 馬上二騎鉄炮三挺弓二張鑪五本
 一千四百石 馬上三騎鉄炮五挺弓三張鑪十本
 一千五百石 馬上五騎鉄炮五挺弓三張鑪十本
 一千六千石 馬上同新鉄炮十挺弓五張鑪十本
 一千七千石 馬上六騎鉄炮十五挺弓五張鑪十本
 一千八十石 馬上七騎鉄炮十五挺弓十張鑪廿本
 一千九千石 馬上八騎鉄炮弓鑪ハ右同新

一万石 馬上十騎鉄炮廿挺弓十張鑪三十本
但長柄對ノ
 二万石 馬上十騎鉄炮五十挺弓二十張鑪
但長柄對ノ
 三万石 馬上十騎鉄炮八十挺弓二十張鑪
但長柄對ノ
 四万石 馬上四十五騎鉄炮百廿挺弓廿張鑪
但長柄對ノ
 五万石 馬上七十騎鉄炮百五十挺弓三十張鑪
但長柄對ノ
 六万石 八十本
但長柄對ノ
 旗八本

一六万石

馬上九十騎鉄炮百七十挺弓廿張鎗

一五万石

九十本但三長柄其外旗十本右同新

一七万石

馬上百騎鉄炮三百挺弓五十張鎗

一四万石

百本但三長柄對旗十本道具凡

一八万石

馬上百三十騎鉄炮二百五十挺弓

一三万石

五十張鎗百十本但三右同新旗十五本

一九万石

馬上百五十騎鉄炮三百挺弓六十張

一二万石

鎗百三十本但三長柄其外旗二十本同新

一十万石

馬上百七十騎鉄炮三百五十張弓六

一七万石

十張鎗百五十本但三長柄對旗二十本道具凡

一、町本領知ノ高弟ニ役付ノ事

千八百七十一万九千九百九十石

一、二万六千九百九十六騎百騎馬

三万七千四百廿四挺鉄炮

一、一萬八千七百七十二張弓

一、九万三千五百六十本八鎗

五千六百十三本八旗

一、人数五十六万三千三百六十八

内十廿万二千五百九十二人八大身分也

一 在四万二千廿一人ハ御譜代衆并同心ハカ
 一 八千六百八十八人ハ御譜代衆并同心ハカ
 一 与力衆臣
 一 日本知行高
 一 内共百八万六千四百石ハ大身分也八百五十
 一 七石ハ御譜代衆并同心ハ分十リ
 一 九百六十一万六千八百石ハ御一門方并
 一 与力衆ハ分也
 一 假割
 一 一万石ハ付テ人数三百人

右之内騎馬十四騎弓十張鉄炮古挺鎗五十本
 但持鎗旗三本

一 諸国所ノ御城米之事

千石	武列神奈川	伊奈半九衛門
二千石	相列藤澤	成瀬五九衛門
五千石	相列小田原	稻葉美濃守
外ニ二十石	寛文年ヨリ増ス都合七十石	
三千石	豆列三嶋	伊奈兵藏
千石	駿列蒲原	井本藤右衛門

一万石

駿府

渡邊孫助

二千石

猪子

猪子九太夫

二千石

駿列田中

酒井日向守

二千石

遠列掛川

井伊伯耆守

三千石

遠列濱松

青山和泉守

三千石

三列吉田

笠原山城守

三千石

三列世崎

水野右衛門太夫

千石

尾列熱田

名藤半九衛門

一万石

勢列桑名

松平越中守

五千石

濃列大垣

戸田九門

千石

勢列龜山

板倉隱岐守

三千石

江列水口

小堀二右衛門

千石

江列永原

觀音寺

五千石

江列膳所

本多隱岐守

二万石

江列彦根

井伊玄蕃頭

一万石

城列淀

石川主殿頭

五千石

城列二条

海野治太夫

藤井勘兵衛

高橋七兵衛

尾崎十兵衛

十萬石 攝津大坂

万年弥三郎
間宮庄五郎
飯高弥兵衛

一萬石 攝列高槻

原田弥之助

一萬石 攝列尼崎

田中彦右衛門
本多十右衛門

二萬石 丹波龜山

音山大膳亮

二萬石 丹波笹山

松平伊賀守

三萬石 泉岸和田

松平九十郎

三萬石 泉岸和田

世部内膳正

一萬石 播列姫路

松平大和守

三萬石 播列明石

本多出雲守

五萬石 備後福山

水野茂作守

五萬石 豐前小倉

小笠原遠江守

千石 豐後木付

松平市正

二萬石 上野高崎

安藤對馬守

五萬石 甲府

甲府宰相殿

千石 信列川中嶋

佐久間備中守

二千石 同松本

水野隼人正

二千石 同小諸

西尾隱岐守

二千石

信列諏訪

諏訪因幡守

千石

同伊奈

西尾隱岐守

千石

同岩付

丹羽式部督

二千石

濃列加納

松平丹波守

千石

下総古河

堀田筑前守

外二千石寬文元年ヨリ

増又都合三千石

五千石

下野宇津宮

本多下野守

三千石

奥列平山

内藤九郎亮

千石

下野太田原

太田原備前守

五千石

奥列白川

松平下総守

千石 羽列神山 土岐伊豫守 二千石

一万石 越後高田

四千八百六十石 羽忍山 奥平次郎

三千石 奥列二本松 丹羽若狭守

七千石 同會津 保科筑前守

和列郡山 松平日向守

千五百石 武列忍 阿部豊後守

外千五百石 寬文元年ヨリ 増又都合三千石

千五百石 武列川越 松平伊豆守

外千五百石 右同 都合三千石

千石 武列岩付 阿部對馬守
 外百二十石 右内断都合三千石
 五方石 江列大津 福嶋八九衛門合三千石
 一万石 肥前唐津 貴志九九衛門
 五千石 同嶋原 松平和泉守
 三千石 豐後府内 松平主殿頭
 二千石 丹波福知山 朽木伊与守
 三千石 石列濱田 松平周防守
 是ヨリ 尤小寛文也 年ニ新規仰付ル分也

六千石 上野前橋 酒井河内守
 二千石 下総佐倉 大久保加賀守
 千石 下野 三浦志广守
 二千石 同下総世喜宿 久世出雲守
 千石 三列西尾 增山兵部少輔
 千石 三列刈屋 稻垣信濃守
 二千石 同横須賀 本多越前守
 三千石 志广島羽
 以上
 所ニ橋料ノ事

五千石 淀ノ橋料 二千石 伏見ノ京橋料

一万石 三列園崎ノ橋料長京間二百八十間有

三千石 同園吉田ノ橋料長京間廿百間アリ

五千石 江列瀬田ノ橋料

但ニ瀬田ノ橋ハ長九十六間
橋ハ長三十六間

武列六郷ノ橋ハ長百九間アリ

一京三十三間堂ニ於テ筋数ノコト蓋ニ根元ハ東

山今熊野觀音ノ別當何某ノ坊ト云ル弓ヲ数奇

ケル故ニ矢坂ノ青塚ニメ射ノベシ以テ射ケリ

其飯儿トニ三十三間堂ニ休ケルカ爰ニ於テ初

一初射初ニトナリ亦曰ク後白川院世三間堂ヲ御

建立有テヨリ六金神ト申ス始ルトモ云リ此外

毛色トノ説ト云ハ凡何レカ是ナリト知ラス

且亦往昔ハ夕ニヒヤウト云テイカニモ輕キ矢

ニテ次録ヲ拵ヘ凡ニ任セテ遠矢ヲ射タルト也

然凡次第ニシテ此有ノ弓勢ノ外ノヤクナリ

トテ相續モナキカ但ニ夕ニヒヤウノ起リハ松

平下野守忠吉ノ家臣川瀬權内ト云シ人遠矢ノ

垂双ト云リ亦同家臣村田与助トモ云尋又ヘシ

叔亦町筋事起リテ一筋二筋或ハ十筋七筋ノ又

ケ箭ハ際限ナキナリ然レ古人モ記シ置タル
盡クハ見及ヌ尤遇フ箭数ノ事覺タリ依テ古老
ノ道ニ詳ナル人ニ彼是ナ聞キ集メテ尤ニ記ス
堂ノ長ナ六十四間一尺八寸六分但シ縁ノ小口
然レ小月キコクナ道

一徹矢五十一

天下一

浅野平兵衛

伴喜左衛門弟子

一同百二十六

天下一

上田角右衛門

同人弟子

一同百五十九

天下一

筒井傳兵衛

一同百廿四

天下一

同人弟子

松平下野舟家臣

一同百七十四

天下一

塩屋角左衛門

同人弟子

右同人家臣

一同百七十一

天下一

榊田治左衛門

同人弟子

浅野紀伊舟家臣

一同百八十八

天下一

吉田五左衛門

右ハ吉田雪舟弟子

一徹矢二百五 天下

淺野紀伊守家臣

同置清煩

木下右衛門大夫家臣

一同二百十一 天下

伴 半右衛門

一同百廿一 天下

伴 喜左衛門弟子

松平肥前守家臣

一同二百七 天下

堀江助右衛門

一同百廿八 天下

伴 喜左衛門弟子

右衛門家臣

一同二百世四 天下

吉田大内藏

一同三百八十四 天下

吉田大内藏

元和六年三月廿一日

紀伊ノ家臣

一同五百世四 天下

糟屋九近

一同同年四月十七日 天下

一同五百八十四 天下

吉田大内藏

元和七年四月廿四日

一徹矢七百五十六 天下

吉田大内藏

同年五月廿一日

松平加賀守家臣

一同九百 天下

矢嶋平左衛門

一同元和九年五月二日

一同千三百世三月二天下
一物数二千八十七筋
吉田大内藏

寛永四年四月十七日

一同千四百四十四 天下
一物数二千二百五十六 吉田六九衛門男子
森藤甚兵衛

一同同五年三月廿三日 天下
一同千五百八十三 天下
糟谷九近

一同千五百九十九 天下
一同千七百三十 天下
落合孫九郎

同年同月廿四日
一同千七百三十 天下
落合孫九郎

一同千七百三十 天下
落合孫九郎

一同千七百四十 天下
吉田大内藏

寛永五年四月廿一日

一同千七百七十五 天下
同六年四月七日 天下
下村忠右衛門

一同千七百四十六 天下
一同千七百四十三 天下
同年同月十日 天下
落谷孫九郎

一同千八百五十二 天下
一同千八百五十七 天下

一同千八百五十七 天下

一同千八百五十七 天下

同同年同月廿七日

一同千九百二十一天下一

惣数四千六十

同同七年四月廿日

一同千九百二十四天下一

惣数三千五百六十八

同同八年三月廿八日

一徹矢二千二百七十一天下

惣数三千七百

同同寛永二年九月廿日

山内半助

糟谷九近

吉田小九近

一同二千八百世五百天下

一同惣数五千三百廿

同十一年四月廿四日

一同三千六百五十一天下

一同惣数五千三百廿

同十二年四月朔日

一同三千四百七十五天下

一同惣数六千八十二

同十四年三月十三日

一同三千八百八十三天下

大橋長藏

高山八右衛門

杵山三右衛門

吉井助之丞

一同三惣数六千二百八十六

一同同年三月十五日

一徹矢四千三百十三天下

一同惣数七千八十八

一同同年同月十八日

一同五千四十四天下

一同惣数七千六百十一

一同明曆二年壬辰四月廿一日

一同六千三百四十三

一同惣数九千七百六十九

吉中

山内

長屋六九兩

赤上

持谷

秋山三石門

高山八石門

吉田

吉見臺石門

大跡

寛文八年五月三日

一同七千七十七天下

一同惣数九千六百三十三

一同九年五月二日

一同八千二百一十天下

一同惣数一万五千四百七十二

一同惣数一千五百四十二

葛西園右門

精谷

日科

星野勘九郎

一武列浅草ノ堂形ニノ正保三年四月十四日阿部

豊後守忠秋ノ家臣海野ニ丸衛門根矢ヲ通シケ

一 同五年三月十三日 内藤带刀家臣
一同徹矢五百世三 天下 一 三宅四郎兵衛
惣数二千三百世三 糟谷左近房子

一同徹矢二百五十三 天下 一 海野二九衛門

惣数十五十筋

慶安三年三月廿八日

一同徹矢三百 天下 一 森藤勘右衛門

惣数一千筋

同四年三月廿一日

一同徹矢三百七十 天下 一 近藤甚兵衛

惣数

同五年三月十三日 内藤带刀家臣

一同徹矢五百世三 天下 一 三宅四郎兵衛

惣数二千三百世三 糟谷左近房子

同年同月十六日 保科肥後守家臣

一同徹矢二千二百世七 天下 一 高橋市郎高門

惣数五千百五十一也

一 寛文八年四月十八日 奥平美作守家臣 築瀬勘兵

衛十云者ノ男ニ 築瀬龜之助八藏ニ 武列三十

三間堂ニ 徹矢ヲ 勤メ 惣矢数六十五百内通矢

三千七百也弓ノ師ハ木村河内扱又弓ノ長亦四
尺八寸分ハ五分矢尺ハ一尺七寸十リ弓師ハ
府弓町二郎兵衛矢師ハ同町吉九衛門ト云者也
龜之助今ハ内記ト改ム

一 同 瀬 天 之 子 二 百 五 十 一 夫 下 一

同 津 田 百 本 村 日

同 磯 崎 二 本 三 百 五 十 三

一 同 瀬 天 之 子 三 百 五 十 一

玉露叢卷之四十三終

内 務 部 口 邊 五

